

## 素敵な夏休みを

学校長 杉森 伸吉

1学期も無事に終わりを迎え、5、6年生は臨海学校に向けて心身を整え、4年生以下のみなさんは、夏休みの予定などに心おどらせているかもしれません。

入学式、生活団の結成、全校和楽会、学年別遠足、移動教室、水泳練習、野菜や菊の栽培、ウサギやチャボ、メダカや蚕の飼育などなど、様々な行事や活動を通して、どのお子さんも、菊の子らしく大きく成長しました。

また、今年の1学期は10連休の大型ゴールデンウィークがあったとともに、平成から令和に切り替わりました。私も、インドネシア教育大学とバリ島のウダヤナ大学に行くために、ちょうど4月30日の23時のフライトで、羽田からジャカルタに向けてフライト中だったので、平成から令和に切り替わったときは上空でした。ANAの飛行機でしたが、元号の切り代わりについては一切アナウンスもなく、またジャワ島でもバリ島でも、元号が全く話題になっていませんでした。このように、日本国内ではビッグニュースなのに、国外ではまったくニュースにならないことは、少なくないように思われます。逆に日本国内では全く知られていないが、海外では大ニュースということもあるでしょう。これは、国内外の比較だけではなく、同じ日本の地域間でも（あるいは個人間でも）生じることでしょう。夏休み中に旅行に行かれるご家族も少なくないと思いますので、外国（や国内の他地域）では日本（や東京）のどんなことがニュースになるのかという視点で、外国や国内の他地域から見える日本や東京について知る機会にもなるうかと思えます。

今年は帰国児童受け入れの帰国子女教育学級（現在の国際学級「ゆり組」）が日本の国公立小学校で初めて開設されてから50周年になります。記念キャラクターも全校生徒のアイデアで作られています。国際的な視点づくりを意識した学習なども、夏休みに取り組んでみるのもいいと思います。

みなさま、素敵な夏休みをお過ごしください。そして多くの子どもたちから夏休みの楽しい思い出について2学期に聞けることを楽しみにしております。

